

第3回沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会会議録

- 1 期日 平成27年3月6日（金）
- 2 場所 沼田市中央公民館3階 第一講義室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 開会 午後6時00分
- 5 あいさつ 小野審議会長

6 議 事

- (1) 第1回・第2回会議録等の確認について
承認

○主な意見

- ・項目ごとにまとめた方がわかりやすいのではないか。

- (2) 統廃合の時期について

「なるべく早い時期」とすることを決定

- (3) 統廃合に際して配慮すべき事項について

- 1) 公立幼稚園の役割を明確にした施設運営について

公立幼稚園の役割として、資料に記載されている五つのこととすることについて確認された。

○主な意見

- ・幼から小への連携が重要である。
- ・各園の実践研究の成果を、全体に広めていることも加えたほうがいい。
- ・公立幼稚園の役割とした五つの内容を、新しい園の目標に掲げるなど具体的に反映するよう考えて欲しい。
- ・教育要領や教育方針だけでなく地域の意見も踏まえることについて加えるべき。
- ・特別な支援を要する子どもたちも受け入れることを明記すべき。
- ・職員の適正配置についても加えて欲しい。

2) 統合後の施設の実施事業等について

①一時預かり事業について

一時預かり保育を取り入れることを承認

○主な意見

- ・預かり保育はぜひ実施して欲しい。
 - ・実施しているところが多いので、出来れば始めて欲しい。
 - ・一時預かりは最低限のこととして必要。
 - ・預かり保育はすごく賛成。1、2時間のために保育園か幼稚園にするか選択に悩む親も多いと思う。
 - ・利用する立場からすると一時預かりをしていった方がいい。
 - ・一時預かりをすれば保護者も助かるのではないか。
 - ・保育園のある病院のように、沼田の企業にも積極的に取組む姿勢が欲しい。
 - ・実施済みの他市で、園により内容に差が出るなど、受け入れる側にも課題がある。
 - ・有資格者で勤め先のない人も多い。そういう人をパートで雇用するのも選択肢の一つだと思う。
 - ・安易に預かり保育をするのではなく、家庭の役割を大事にしながら、預かる条件を考えるべき。
- ・預かり保育は実施しないで欲しい。

②通園方法について

統合により園が遠くなる人の救済として、園バスの導入を検討する。

○主な意見

- ・親のメリットだけでなく子どもにとってのメリットを考えるべき。
 - ・バスを入れても、今までの良さである保護者との連携の方法について工夫して欲しい。
- ・バスは送迎が出来ない事情のある親のために必要。
- ・バスなら皆同じに帰れるのがメリット。
 - ・園児数の確保を考えるのならバスがある方がいい。
 - ・バスがあれば通園だけでなく色々な活用も出来る。
 - ・利南の地形や天候の悪い日を見るとバスはあった方がいい。
 - ・子どもを集めるには園バスは効果がある。

- ・園バスは備えておくべき。
- ・送迎出来ない家もあるので、通年にしろ一時にしろ利用の選択肢があった方がいい。

- ・自分の子どもの時のことを考えるとバスのメリットは思い当たらない。
- ・迎えに来た親との車の中の時間は、子どもにとってすごく貴重な時間だ。
- ・子どものためにはマイカー送迎がいい。
- ・園バスは実施しないで欲しい。

(4) 次回検討課題について

- ・統合後の施設の実施事業等のその他について
- ・答申（案）について

(5) その他

次回、給食の取組と公立の特色についての資料を用意する

7 その他

次回開催は3月19日（木）午後6時に決定

8 閉会 午後8時00分